

議員研修報告書

報告者 (会派等) 片野 晶子

1. 視察期間	令和4年11月15日(火)	
2. 研修テーマ	<p>地域の人・あるものを活かす</p> <p>持続可能なまちづくり</p> <p>～人的資本、統合思考の地域づくりでの活用法～</p>	
3. 研修項目	<p>1. 地域の人的資本戦略</p> <p>～変化の時代に持続可能な地域をつくるための「人への投資」とは？</p> <p>2. 社会・環境・経済の好循環を生み出す統合思考の地域づくり</p>	
4. 講師	<p>ソーシャル・プロジェクト・プロデューサー</p> <p>慶応義塾大学・立教大学大学院非常勤講師</p> <p>広石 拓司 氏</p>	
5. 研修内容	ア. 概要	<p>①財界と政府が進める「人材から人的資本への考え方のシフト」</p> <p>②地域にも重要な「人的資本」の考え方</p> <p>③激しい変化の時代に、地域を支える「人」とは</p> <p>④目指したい将来の姿から人を捉えなおす</p> <p>⑤地域の強みとなるダイバーシティ&インクルージョンとは</p> <p>⑥地域にある人の力を活かすための対話と学びの場づくり</p> <p>⑦短期視点の経済優先が将来の地域にダメージを与える危険</p> <p>⑧経済・社会・環境をバラバラに考えない統合思考とは</p> <p>⑨企業における統合思考と統合報告書</p> <p>⑩地域「6資本※財務, 製造, 知的, 人的, 社会・関係, 自然」の見直し</p> <p>⑪地域づくりを包括的かつ中長期的視点から考える</p> <p>⑫未来志向のローカルガバナンス</p>
	イ. 内容	※別添付資料
	ウ. 課題	

<p>6. 今後に活かしたい学び</p>	<p>当たり前すぎて見落としがちなこと、例えば対話の大切さや学び直しの必要性など、また視野を広く持って統合思考という視点など、まちづくりにおいてとても大切な視点を多く学ばせていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人は今を支える「人材」であるだけでなく、未来に新しい価値を生み出す「人的資本」としてとらえれば、発想も変わる。 ・自治体は、市民をクライアントとして助けてあげる対象と見るのではなく、問題を共有し共に地域を創っていく仲間であると捉えたい。→役所も市民も意識を変えていく手法とは？ ・未来に向けた「人材ポートフォリオ」とは <ul style="list-style-type: none"> ①実現したい持続可能な地域の未来像を描く 例) 夫婦で子育てしながら充実した仕事ができるまち ②未来像の実現にはどういう人が必要かの整理 例) 仕事も暮らしもアクティブな人、子供の主体性を伸ばす保育士、助け合い活動を行うシニア世代、子どもの居場所づくりの担い手…etc ③地域の現状と照合→人・スキルの過不足を把握 ④必要な人を育てる・増やす・集める。後継者を育てる。今の人材のリスク方策を考える。 ・ダイバーシティ&インクルージョン 《ダイバーシティの意味》 他者がいるから自分の特徴を把握できる。 自分と異なる他者の考え方の価値を受容し、多面的な視点・考えるフレームを自分自身が柔軟に使いこなせるようになる。 自分自身を確立しながら揺るがす。 ＝ダイバーシティは見直す力を高める ＝変化する環境への対応力 《インクルージョン（包摂）》 既存集団と同じになる（同化）ではなく、違いは違いのままつながりの中に存在する。 ☆多様性と包摂（ダイバーシティ&インクルージョン）をセットで取り組むことが重要 ◎一緒に悩める人がどれだけいるか ＝社会関係資本 ・自分だけで頑張っても根本解決には至らない。実現したい未来は来ない→一緒に悩む！ ☆解決策を急ぐ前に、問いを分かち合う
----------------------	--